

1 本年度の結果

①全国学力・学習状況調査 正答率平均

教科	国語	算数	理科
前年度結果 (対全国比)	56 (96)	47 (90)	
本年度結果 (対全国比)	48 (88)	39 (81)	477 (95)

②学習環境調査 icheck 【個人の心の安全 自己肯定感×学級適応感】

		1年		2年		3年	
		6月	12月	6月	12月	6月	12月
A	人数(人)	44	33	43	37	26	36
	割合(%)	56.2	39.2	51.2	43	32.9	35.3
B	人数(人)	27	38	31	32	51	38
	割合(%)	34.8	45.2	36.9	37.2	55.1	37.3
C	人数(人)	0	0	2	0	1	1
	割合(%)	0	0	2.4	0	1	1
D	人数(人)	6	4	8	4	14	12
	割合(%)	7.7	4.8	9.5	12.8	15.4	11.8
E	人数(人)	1	1	0	0	0	1
	割合(%)	1.2	1.2	0	0	0	1

③学習環境調査 icheck 【クラスの成長力 規律と思いやり×発信力】

		1年		2年		3年	
		6月	12月	6月	12月	6月	12月
A+B型	人数(人)	52	46	54	45	50	46
	割合(%)	70.2	54.8	64.3	52.3	54.4	45.1
A+C型	人数(人)	43	41	48	43	48	50
	割合(%)	54.9	48.8	57.1	50	52.2	49
A+D型	人数(人)	45	46	58	62	60	52
	割合(%)	57.9	54.8	69	72.1	65.3	51
B+D型	人数(人)	35	38	36	37	44	38
	割合(%)	45.1	45.2	42.9	43	47.8	37.3
C+D型	人数(人)	26	33	30	35	42	42
	割合(%)	32.9	39.3	35.7	40.7	45.6	41.2

④学力定着調査(R6 NRT、R7標準学力調査)

		国語	社会	数学	理科	英語
1年	前年度結果 偏差値平均					
	本年度結果 標準スコア	50.4	52.1	53.2	50.9	54.5
2年	前年度結果 偏差値平均	48.9	46.4	49.2	48.4	48.8
	本年度結果 標準スコア	47	53	48.3	48.6	48.6
3年	前年度結果 偏差値平均	47.7	46.9	45.1	46.2	48.8
	本年度結果 標準スコア	47.5	47.5	48.2	46.9	49.7

2 本年度の取組について

①調査から明らかになった課題

【全国学力・学習状況調査をうけて】 1 国語科 ●内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることができていない。 ●読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができていない。 ●読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができていない。 2 数学科 ●式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができていない。 ●統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができていない。 ●ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができていない。 3 理科 ●身の回りの事象から生じた疑問や見出した問題を解決するための課題を設定できていない。 ●元素記号で表すことに関する知識及び技能を問う問題への無解答率が高い。 ●回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身につけていない。	【標準学力調査をうけて】 1 国語科 ●書く内容の中心が明確になるように、文章の構成や展開を考えて書くことができていない。 ●自分の考えが伝わる文章になるように工夫できていない。 ●論理の展開の仕方を捉えた文章の内容の読み取りができていない。 2 数学科 ●事象を数学的に判断し、数学的に説明することができていない。(比例反比例) ●証明の必要性と意味を理解し、正しい説明を選択できていない。 ●1次関数のグラフから読み取る方法について説明することができていない。 ●解の公式を使って、2次方程式を解くことができていない。 ●問題文を読み、適切な関数のグラフを選び、選んだ理由を説明することができていない。 3 理科 ●再結晶で取り出される結晶の質量の違いを正しく比較できていない。 ●身の回りの反射による現象を指摘できていない。 ●還元について理解できていない。 ●木片の大きさを変えたときに圧力がどのように変わるかを推察できていない。 ●電流が流れる水溶液を指摘できていない。陽イオンの動き方について理解できていない。 ●細胞分裂により増えた細胞が伸長、肥大して成長が起ることを記述できていない。 4 英語科 ●対話文を読み、文構造や文法事項を理解していない。 ●対話の流れに合った英文が書けていない。 ●英文を聞き、要点を捉えて自分の考えを英文で答えることができていない。 ●文の語順を理解し、正確に書くことができていない。 ●3文以上の英作文でまとまりのある文章を、相手に伝わるように書けていない。 5 社会科 ●中国の人口政策について、資料の読み取りができていない。 ●ヨーロッパとイスラム世界との交流について理解ができていない。 ●国家総動員法について理解できていない。 ●公共の福祉について、資料の内容に着目して、自分の言葉で表現できていない。 ●戦後初の衆議院議員総選挙において、有権者の割合が増加した理由を、資料の内容に着目し、表現できていない。
【icheck 1回目をうけて】 ●散布図 I【個人の心の安全】において、Dグループに属する人数は、1年6人、2年8人、3年10人であった。 ●回答結果一覧より、以下の結果が得られた。1年生は「クラスの人々がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがありますか。」「勉強するときは、自分で計画を立てていますか。」の2項目において、2つ以上のクラスが全国値を下回っている。2年生は「学校の授業では、友だちと教え合う時間がありますか。」の項目において、全てのクラスが全国値を下回っている。3年生は、「テストでまちがえた問題は、あとでやり直していますか。」の項目において、2つ以上のクラスが全国値を下回っている。	【icheck 2回目をうけて】 ●散布図 I【個人の心の安全】において、Dグループに属する人数は、1回目と大きな差はなかった。 ●回答結果で全国値に比べての課題は、1年生では対話や話し合いの「学校生活の中で何回くらい。自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしていますか。」「生活習慣の「朝は自分で起きますか。」「学校に持っている物は、前の日のうちに確かめていますか。」「学習習慣や意欲の「テストで間違えた問題は、あとでやり直していますか。」「である。 2年生では、自己肯定感の「勉強やスポーツ、習い事、趣味などで、自分なりに自信を持っていることがありますか。」「友達の意見を聞いて新しいことに気づいたり、自分の考えが深められたりして、勉強が面白いなと思うことがありますか。」「学習習慣・意欲の「勉強するときは、自分で計画を立てていますか。」「最近、学校の勉強が難しくなったな、と感じることがありますか。」「である。 3年生では、学習習慣・意欲の「テストでまちがえた問題は、あとでやり直していますか。」「ノートの取り方について、自分なりの工夫をしていますか。」「学校で学んだことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。」「最近、学校の勉強が難しくなったな、と感じることがありますか。」「自己肯定感の「学校での日々の授業や活動の中で、自分は人間として成長したな、少し大人になれたな、と感じることがありますか。」「夢中になった、勉強が面白いと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がありますか。」「生活習慣の「朝は自分で起きますか。」「である。

②課題改善に向けた学校組織全体の重点目標・取組

取組(上記課題を踏まえたもの)	具体的方策(継続して取り組めるもの)	検証指標及び時期
【全国学力・学習状況調査の結果から】 1 国語科 ●文章表現における効果や意図を捉えたり、相手意識を持った表現のあり方について学習を深めさせ、自分の考えや思いを適切に言語化する力を育てる。 2 数学科 ●基礎的・基本的な事項の理解を進められるよう繰り返し学ばせ、知識・技能を定着させる。また、問題の読み取りや数学的な表現を用いた説明の課題に繰り返し取り組ませる。 3 理科 ●基礎的・基本的な事項の理解を進められるよう繰り返し学ばせ、知識・技能を定着させる。また、身の回りのことと関連させて内容を理解させるような授業の工夫をする。	1 国語科 ●授業において、効果的に文章を表現する課題を設定して取り組む。また、対話の場面を設定して自分の考えを表出したり、R80を用いた振り返りにおいて自分の考えをまとめる活動を実施する。 2 数学科 ●実践的問題のドリル学習を行う。また、1時間の授業の中で、めあて・中心的な問い・振り返りにつながりを持たせ、本時で学習する内容を精選する。 3 理科 ●実践的問題のドリル学習を行う。また、身の回りの事象から関連した問題を提示し、学習内容と日々の生活のつながりを理解させる。	1 国語科 ●全国学力調査で課題の見られた問題を抽出して、もう一度解かせ、正答率向上を目指す。(3学期) ●生徒授業アンケート「書くこと」の肯定的評価の向上。 2 数学科 ●全国学力調査で課題の見られた問題を抽出して、もう一度解かせ、正答率向上を目指す。(3学期) 3 理科 ●全国学力調査で課題の見られた問題を抽出して、もう一度解かせ、正答率向上を目指す。(3学期)
【標準学力調査から】 1 国語科 ●書く内容の中心が定まらず、構成を組み立てられない。 ●独りよがりな記述になり、表現の工夫が足りない。 ●文章全体の構造を捉えた正確な読解ができていない。 2 社会科 ●主に歴史的分野の学習についての知識・技能を定着させる。 ●記述問題で「資料の内容に着目して」書くことができない。 3 理科 ●物質の変化を定量的に捉えられていない。 ●現象を数理的・空間的に推察できていない。 ●細胞の「数」と「大きさ」の変化を分けて理解できていない。 4 英語科 ●文の語順を理解し、正確に書く時間を授業で設ける。 ●対話などの状況に応じた英作文に取り組む。 5数学科 ●比例反比例・1次関数の判断や理由説明、証明の意義が不十分。 ●1次関数の読み取り、事象に合わせたグラフの選択と理由付け。 ●2次方程式の解の公式の活用ができていない。	1 国語科 ●日々の授業において、いきなり書き始めず、20文字程度の「核となる主張」と、それを支えるキーワードをメモさせる。 ●一文の長さは適切か」「指示語が指す内容は明確か」「接続詞を正しく使っているか」などのリストを用いて書かせる。 ●教科書の本文にある接続詞に○をつけ、「逆接」「逆説」「例示」など、その役割を書かせる。 2 社会科 ●事前学習での知識定着や、定期的な語句テストを行う。 ●授業の冒頭5分で、「このグラフから言えることを3つ箇条書きにしよう」といった、知識を問わない「純粋な読解トレーニング」などを継続して行う。 3 理科 ●例えば還元では「酸素の受け渡し」をアニメーションやカードで表現し、酸化と還元が同時に起こることを強調する。 ●例えば光の反射では「鏡に映る範囲」や「水面の反射」などを、必ず「入射角＝反射角」の作図を用いて説明させる小テストを繰り返す。 ●「成長＝(1)細胞分裂で数が増える＋(2)増えた細胞が大きくなる(伸長)」という2つのプロセスをセットで記述させる。 4 英語科 ●授業の中でスモールトークから、自分の気持ちや考えを書く活動につなげる。 ●ペアワークなどペアで対話させるときに、ある程度正確さに注目させ、英文化させる。 5数学科 ●既った証明や不十分な説明文を提示し、「どこが足りないか」「どう直せば正しいか」をペアで検討する時間を授業の中で設ける。 ●「文章題(事象)」「数式」「グラフ」のいずれか1つを与え、ミニプリントを帯活動(授業冒頭5分)で実施する。 ●2次方程式の計算に特化した短時間の反復練習を週単位で実施し、フィードバックで成功体験を積ませる。	1 国語科 ●標準学力調査で課題の見られた問題を抽出して、もう一度解かせ、正答率向上を目指す。 2 数学科 ●標準学力調査で課題の見られた問題を抽出して、もう一度解かせ、正答率向上を目指す。 3 理科 ●標準学力調査で課題の見られた問題を抽出して、もう一度解かせ、正答率向上を目指す。 4 英語科 ●標準学力調査で課題の見られた問題を抽出して、もう一度解かせ、正答率向上を目指す。 5 社会科 ●標準学力調査で課題の見られた問題を抽出して、もう一度解かせ、正答率向上を目指す。
【icheck(1回目・2回目)から】 ●安心できる居場所づくり ●支持的風土の醸成 ●学習規律・学習環境の整備 ●自己肯定感の向上	●行動観察、生活ノート、面談等から生徒の心情理解に努める。 ●コンサルテーションによる学級経営の改善。 ●授業規律を確立し、「対話」と「振り返り」を主軸とした授業づくりを全教科で行うことで、生徒の学び合いや学習内容のまとめの充実にも努める。	●スクールカウンセラーやSSWによる担任へのコンサルテーションの実施。 ●授業規律及び授業づくりについての研修の実施 ●icheckにおいて課題に示した同項目の質問事項での回答結果を向上させる。